

当病院は

「通常ステント、薬剤溶出性ステントを用いた冠動脈 ステント治療後の長期予後に関する研究」 を行なっています

【研究の意義・目的】

虚血性心疾患を対象とした冠動脈ステント留置術は通常型ステントや薬剤溶出性ステントを用いて行っています。それらを用いて治療した長期予後の報告は少なく、依然不明であるため、今回、長期予後に関する調査を計画しました。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2004年4月1日から2015年12月31日の間に、虚血性心疾患に対し通常ステントまたは薬剤溶出性ステントを用いて冠動脈ステント留置術を受けた患者さまを対象としています。

ご提供いただく情報は、年齢、性別、身長、体重、既往歴、治療対象となる血管の病変長、血管径、病変性状など、また病状の経過をかかりつけ医に確認させていただきます。通常の診療の範囲内で得られた情報を研究対象としますので、患者さまに日常診療以外の身体的及び経済的負担が生じることはありません。

なお、この研究の責任者は小倉記念病院 循環器内科 安藤献児です。

【個人情報の管理について】

個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報は削除した上で、厳重に管理を行い、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表（学会や論文等）の際にも個人が特定できる情報は一切含まれません。この研究に関わる記録・資料は研究終了後5年間（もしくは公表後3年間）保存した後、適切に破棄いたします。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究に関する相談やお問い合わせ（研究資料の入手方法を含む。）、またはご自身の診療情報につき開示または訂正のご希望がある場合は、下記連絡先までご連絡ください。なお、この研究の対象者となることを希望されない場合は、お申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

小倉記念病院 循環器内科 担当者 陣内博行 / 蔵満昭一
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）